

事業分類		<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input checked="" type="checkbox"/> 必需		公的関与 1		作成日		30年 6月 25日		
事務事業名		郷土資料館経費				シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	3 心豊かなまち				課名	社会教育課		係名	生涯学習係
		3-2 文化のかおるまちをつくる				シート作成者				
	施策	3-2-1 多様な文化・芸術活動の支援				予算費目	会計	一般		
							款	10		
主要施策	③ 文化財の保存・活用				項		5			
					目	5				
個別計画名										
住民との関わり		特になし								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）			目的（どういう状態にしたいのか）						
	町民、町内の文化財			資料館を見学することを通じて町民に郷土の歴史を知ってもらい、その中で郷土愛を育み、誇りを持ち、まちづくりの意識を向上させる。						
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		町内の郷土資料の収集・保存・展示を行う。								
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度		～ 平成 年度		(年間)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
根拠法令・要綱等		文化財保護法								
		平成28年度（決算）		平成29年度（決算）		平成30年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		0		4,191		435				
財源内訳	国庫支出金		0		0		0			
	県支出金		0		0		0			
	地方債		0		0		0			
	その他特定財源		0		0		0			
	一般財源		0		4,191		105			
直接事業費（千円）A		0		4,191		105				
人件費（千円）B		0		0		330				
内訳	一般職員（人・千円）		0.00 人		0		0.00 人		0	
	臨時職員（人・千円）		0.00 人		0		0.00 人		0	
成果指標	成果指標名			単位	29年度		30年度	31年度		
					目標	実績	(目標)	(目標)		
	①	郷土資料館への入館者数		点	—	118	150	200		
	②									
③										
説明	より多くの方に見学していただくことが、事業目的の達成につながる。									

事業名	郷土資料館経費	シート作成課	社会教育課
-----	---------	--------	-------

一次評価者	社会教育課長	二次評価者	教育委員会事務局長
-------	--------	-------	-----------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	郷土の歴史を知るために、郷土資料の保存、展示を行う施設が必要です。
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	実物の郷土資料にふれることができ、町の歴史を学ぶのに有効です。
達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	平成29年10月に城山小学校に移転したためさらにPRが必要です。また、未整理資料の整理を進め、新たな展示や企画を進める必要があります。
効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	専門職員が配置されれば、事業の効率性は飛躍的に向上すると思われます。

本事務事業の実施適切性の説明

町民に郷土の歴史に関心をもってもらうためには、郷土資料を保管・展示している郷土資料館を見学してもらうことが有効な手段です。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	2	4	B	A
今後の方針	休・廃止	見直し		継続	拡大		
今後の改革・改善目標	郷土資料の整理と効果的な展示を行う専門職員の確保について検討する必要があります。平成29年度に城山小学校の空き教室に移転したことから、PRと入館者の増加に努める必要があります。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	4	4	B	A
今後の方針	休・廃止	見直し		継続	拡大		
コメント	資料展示の推進と文化財の保存・整理場所等についても今後検討していく必要があります。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--